今和:	2年度	事務事	業実績	事評価 :	表								
	業概要						課名	林務課	事業No.	191			
							会計	一般会計					
事務事業名				林道	整備事業		事業区分	政策	実施区分	継続			
						開始		終了					
	主要区分		<u> </u>	主	記号	計画等名称							
		戦略計画											
	単												
根		分野別計画				地域経済活性化プログラム							
拠	分				飯田市森林整備計画								
					地域再生計画								
					森林・林業	基本法							
	法令・例規等												
=	事業目	対象 意図		象	未舗装、未改良部分の林道								
=	尹未口			開設、改良、舗装工事を実施し、森林整備の作業効率や輸送力及び生産性を向上させる									
2事	業内容	\$											
					取	組内容		経費の内容 事業費(千月					
						要不可欠な林道の開設、舗装、	林道の開設(南信濃高平線)			25,038			
						効率化や通行の安全確保を図り	林道の舗装(千遠線)			35,831			
					、老朽化した橋梁の補修工事を実施し、長寿命 林道の改良(国庫補助事業) 251,								
		化と将	来の	架け犁	えコストの	縮減を図りました。	林道の改良(市	単独事業)		5,294			
2年	一座												

2 事業内容													
_ 3.5/41.31			取組内容			経費の内容					事業費(千円)		
	森林整	備や保全管理	上、必要不可欠な	献装、 7	林道の開設(南信濃高平線)						25,038		
			運搬の効率化や通		—	林道の舗装(千遠線)						35,831	
	ました。	また、老朽化	した橋梁の補修工	長寿命 7	林道の改良(国庫補助事業)					251,154			
	化と将来の架け替えコストの縮減を図りました。 林道の改良(市単独事業)											5,294	
0/工座													
2年度 取組													
中人和丘													
						その他の経費					4	0	
	指	標名 (数値で	表せる活動量)		29年度 平成30年度 令和元年度			令和2年度					
	++ 、共 8日 = 1	1.7.T. E	,		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	林道開設林道舗装			m	1.000	100 646	200 1.200	228 918	260 1.000	299 1.083	100 950	864	
	林道改良			m m	700		540	612	559	559	430	475	
活動指標		と と と ひ良・保全整	法 第6	橋	9	7	8	8	7	7	2	2	
	小足间不	KKK WILE	m 12171	1143		,			,	,			
		予算額	400,885	特定財源内訳及び補足事項									
	ì	(5) 11/		(県) 林道開設事業補助金(国1/2、県1/100)10,098千円									
2年度	財源の 状況	国庫支出金			(県) 林道舗装事業補助金(国1/2、県1/100) 16,726千円								
決算		県支出金	,	(111-) 12 74-41 87 (-1-1)			助金(国1/2、県1/100)123,342千円						
(千円)		地方債	122,400	(3) 48 th A							b) 65, 200°	十円	
		その他	2,021	(そ)繰越金 1→2 繰越明	折弗 60	551 4 🖽	2 → 2	編載明新	.弗 77 9	no.∡⊞			
		一般財源	42,730	1 一 乙 滁越明	计頁 09,	201十円	∠→3	深燃明計	. 貝 11,3	ロサ十円			

3 事務事業を構成する予算科目

	3 争物争未で構成する1 昇付日										
番号	会 計	款	項	目	大 事 業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)		
1	1	6	2	2	19	1	30,651	25,038	林道開設事業費		
2	1	6	2	2	20	1	49,766	35,831	林道舗装事業費		
3	1	6	2	2	21	1	315,141	251,154	林道改良事業費(補助)		
4	1	6	2	2	22	1	5,327	5,294	林道改良事業費(単独)		
5											
6											
7											
未改良区間が多数あるため、崩落の危険性の高い箇所を効率的に事業を進める必要があります。降雨による崩落や落 木等が多く、林道通行者の安全確保が課題であるため、森林整備や木材搬出が多い路線を対象に重点化を図り経費を ます。											
上記の課題解決 のための有効策 森林整備の推進や生活道路としての路線を重点化し、飯田市森林整備計画や 施する必要があります。							飯田市森林整備計画や橋梁保全整備計画に基づき、計画的に事業を実				
	度に向取り組		未改	未改良区間が多くあるため、優先順位を精査し、重点化を図りながら事業を進めます。							